

## ■ 株主メモ

事業年度	毎年11月1日から翌年10月31日まで
定時株主総会	1月中
基準日	
定時株主総会 期末配当金	10月31日
中間配当金	4月30日
公告方法	電子公告とし、当社ホームページに掲載いたします。 ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。 公告掲載URL：http://www.hi-lex.co.jp/
株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の 本店及び全国各支店で行っております。
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住所変更、単元未満株式の買取のお申出先について 株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。</li> <li>・未払配当金の支払について 株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。</li> </ul>
(各種手続のご案内)	URL <a href="https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/">https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/</a>
上場取引所	東京証券取引所 市場第二部
単元株式数	100株

## ホームページのご案内

当社のホームページでは、IR情報をはじめとして、各種情報を公開しておりますのでご覧ください。



<http://www.hi-lex.co.jp/>

## HI-LEX 株式会社ハイレックスコーポレーション

〒665-0845 兵庫県宝塚市栄町一丁目12番28号  
TEL 0797-85-2500 (代)  
URL <http://www.hi-lex.co.jp/>



# HI-LEX

株主通信 | 第78期報告書  
2020年11月1日から2021年10月31日まで

株式会社ハイレックスコーポレーション

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。当社グループの第78期事業年度（2020年11月1日から2021年10月31日まで）が終了いたしましたので、その概況をご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2022年1月

代表取締役社長  
寺浦 太郎



Q 当期の業績について

A 新型コロナウイルス感染症の影響から回復基調にあるものの、半導体供給不足により減産となりました

当連結会計年度における世界経済は、米中間の通商問題を巡る緊張、新型コロナウイルス感染症等の影響に加え、世界的な半導体供給不足により、不透明な状況で推移いたしました。さらに、これらの状況が長期化することも懸念されております。自動車業界においては、日本国内の自動車生産台数は前期比1.6%増の813万台となり、米国では前期比7.5%増の940万台、中国では前期比8.0%増の2,647万台となりました。

当連結会計年度の業績は、世界各国の経済活動が前年の同感染症による停滞から再開に転じたことから、総じて顧客の生産が増加いたしました。同感染症の再拡大及び半導体供給不足による自動車メーカーの減産の影響も

あり、売上高は2,177億5千4百万円（前期比219億7千万円増、11.2%増）となりました。

このような状況のなか、当社グループでは、時差出勤やリモートワーク等の実施による同感染症防止策を徹底しつつ、生産性の向上や経費削減といった合理化による収益の確保に努めてまいりました。しかし、世界的な鋼材・非鉄金属及び樹脂材の高騰により材料コストが上昇したこと、世界的なコンテナ不足等により輸送コストが高止まりしたこと等の影響により、営業利益は6億8千5百万円（前期は9億5千2百万円の営業損失）に留まりました。

経常利益は、主に受取配当金、受取利息及び持分法による投資利益を計上した影響等により、30億3千2百万円（前期比28億4千4百万円増）となりました。親会社株主に帰属する当期純損益は、投資有価証券売却益、関係会社出資金売却益、受取保険金、補助金収入及び収用補償金を特別利益に計上した一方で、製品保証引当金繰入額及び固定資産圧縮損を特別損失に計上したことから、48億9千6百万円の利益（前期は35億1千3百万円の損失）となりました。

事業紹介



自動車分野

コントロールケーブル、ウインドレギュレータといった当社の主力製品は、高い耐久性や信頼性、コンパクトな構造など優れた特長があり、自動車の機能部品として採用されております。



船舶・ボート分野

当社の船舶用コントロールボックスは耐久性、耐蝕性にも優れ、レジャーボートや漁船分野では60%のシェアを確保しております。また、ジェットボートや高速艇などの分野にも進出しております。



建設機器・産業機器分野

当社では、アクセルアクチュエータを利用し、作業モードと低燃費モードを調整することで、エネルギーロスを抑えたコントロールケーブルシステムを建設機械用に提供しております。

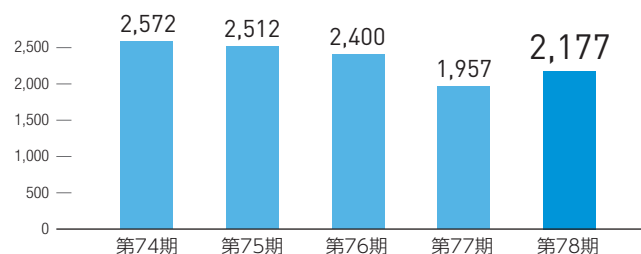


福祉・住宅関連分野

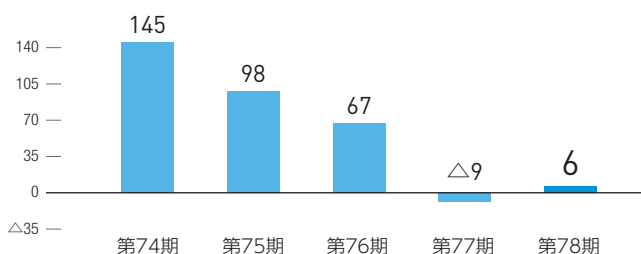
ユーザー様、お客様の幸せな暮らしを少しでもサポートするために、当社独自の技術を駆使し、福祉・住宅関連の商品を提供しております。

連結財務ハイライト

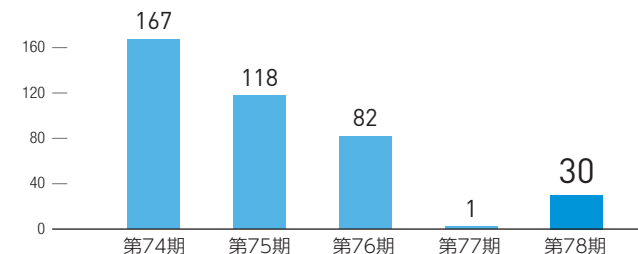
売上高 (単位: 億円)



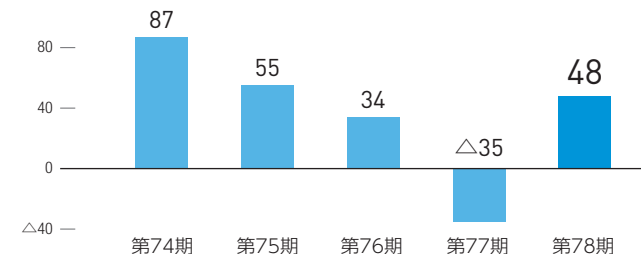
営業利益又は損失(△) (単位: 億円)



経常利益 (単位: 億円)



親会社株主に帰属する当期純利益又は損失(△) (単位: 億円)



Q 各セグメント別業績について

A 新型コロナウイルスの感染再拡大及び世界的な半導体供給不足の影響等により北米・欧州で減益

各地域別での世界経済は、同感染症による深刻な影響が続くなかで、ワクチン接種の拡大等により、前期比では景気は緩やかな回復基調となっているものの、変異ウイルスによる感染再拡大への懸念に加え、世界的な半導体供給不足による生産活動への影響等、依然として予断を許さない状況となっております。日本・中国・アジアにおいては、半導体不足による顧客の減産影響があったものの、同感染症からの回復に伴い主要顧客への販売台数が増加したことにより増益となりました。北米・欧州においては、原価低減と生産性改善に取り組んだものの、同感染症の感染再拡大や世界的な半導体供給不足、材料及び輸送コストの増加等の影響により減益となりました。

Q 当期の配当について

A 期末配当金は1株当たり17円00銭とさせていただきます

当社は、利益配分につきましては、株主の皆様にとっての収益性と今後の収益予想や将来の事業展開等を考慮し、長期的な安定配当を維持していくことを基本方針としております。

当期の配当については、経営体質の強化と今後の事業展開を勘案し、内部留保及び連結での配当性向にも意を用い、さらに同感染症の影響や当社を取り巻く事業環境等を勘案した結果、1株当たり17円00銭とし、中間配当金と合わせて通期では34円00銭とさせていただきます。

トピックス

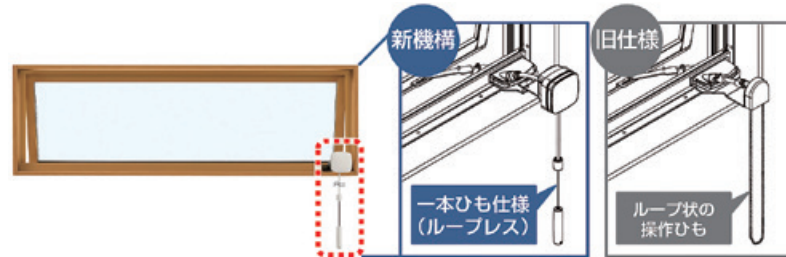
高窓開閉装置

YKK AP製住宅向け高窓用の開閉装置を開発いたしました。

従来装置のボールチェーン（ループ）仕様は、子供の体に巻き付くことで事故につながる危険があることから、安全性の向上のためケーブル1本（ループレス）仕様の開発に取り組み、2021年5月より業界初となる新機構の商品化に成功しました。

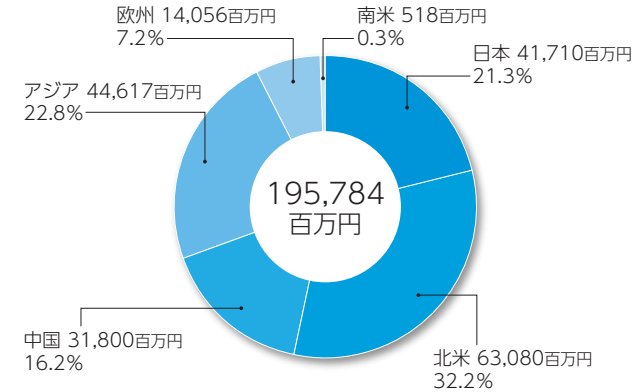
切替ノブ操作で本体に内蔵されたギヤが切り替わり回転方向を変えることで、ケーブル1本（ループレス）仕様の開閉を実現し、安全性を向上させることができました。

今後の新築住宅では従来装置から本製品に全面的に切り替えて設置されるため、生産の増加が見込まれます。

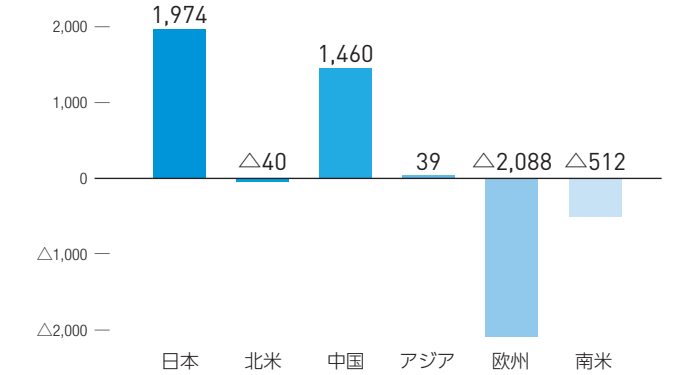


前連結会計年度 (2019年11月1日から2020年10月31日まで)

売上高



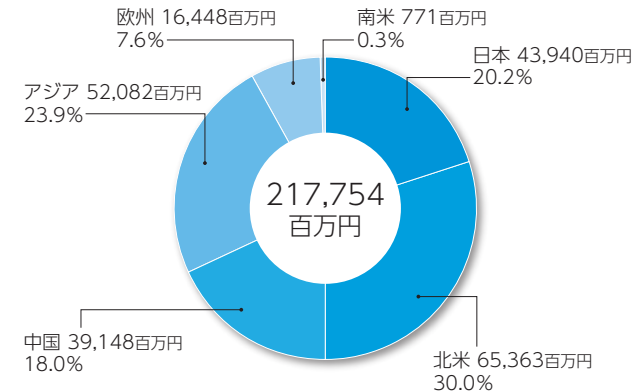
セグメント利益又は損失(△) (単位：百万円)



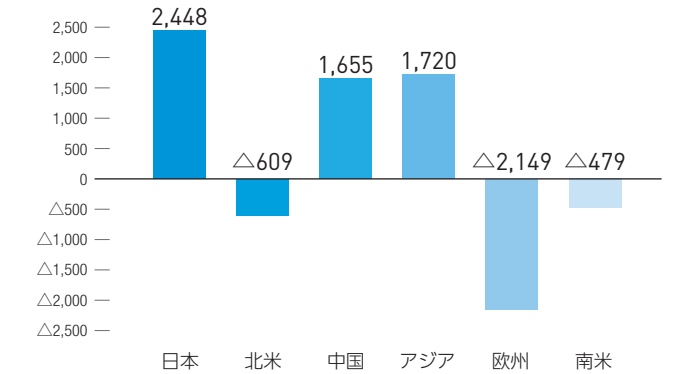
注) 各セグメント利益又は損失の合計額と連結損益計算書の営業損失との差額の主な内容は、全社費用及びセグメント間取引の調整であります。

当連結会計年度 (2020年11月1日から2021年10月31日まで)

売上高



セグメント利益又は損失(△) (単位：百万円)



注) 各セグメント利益又は損失の合計額と連結損益計算書の営業利益との差額の主な内容は、全社費用及びセグメント間取引の調整であります。

# “世界最高水準の技術と製品を全世界へお届けするために”、 グローバルネットワークを構築し、現地生産体制を推進しています。

ユーザーの近くで最高水準の製品を提供するために――。

私たちは積極的な海外展開を図り、現地における生産体制の拡充を推進してきました。

アメリカ、メキシコ、ブラジル、ドイツ、イタリア、スペイン、ハンガリー、ロシア、中国、韓国、インド、インドネシア、ベトナム、タイ、チェコ、セルビアの世界16ヶ国に拠点を展開しております。

最高水準の技術を提供するグローバルネットワークを活用して  
世界ブランド「HI-LEX」「TSK」をさらに大きく育ててまいります。

(2022年1月現在)



HI-LEX CONTROLS INC.  
LITCHFIELD PLANT (U.S.A.)



HI-LEX CONTROLS INC.  
HUDSON PLANT (U.S.A.)



DAEDONG HI-LEX OF  
AMERICA INC. (U.S.A.)



HI-LEX AMERICA INC. (U.S.A.)  
HI-LEX AUTOMOTIVE CENTER  
(U.S.A.)



HI-LEX MEXICANA, S.A. DE C.V.  
(MEXICO)



重慶海徳世控制拉索系統有限公司  
(CHINA)



長春海徳世汽車拉索有限公司  
(CHINA)



広東海徳世拉索系統有限公司  
(CHINA)  
広州利時徳控制拉索有限公司  
(CHINA)



本社 (JAPAN)

国内グループ11社

- 出石ケーブル(株)
- (株)ハイレックス埼玉
- (株)ハイレックス島根
- (株)ハイレックス関東
- (株)サンメディカル技術研究所
- 但馬ティエスケイ(株)
- (株)ハイレックス宮城
- (株)ハイレックスメディカル
- (株)EVIジャパン
- 丹波ケーブル(株)
- 京丹TSK(株)



HI-LEX DO BRASIL LTDA.  
(BRAZIL)



HI-LEX HUNGARY CABLE  
SYSTEM MANUFACTURING LLC  
(HUNGARY)  
HI-LEX RUS LLC (RUSSIA)  
HI-LEX EUROPE GMBH  
(GERMANY)



HI-LEX ITALY S.P.A. (ITALY)



HI-LEX AUTO PARTS SPAIN, S.L.  
(SPAIN)



HI-LEX CZECH, S.R.O.  
(CZECHIA)



煙台利時徳拉索系統有限公司  
(CHINA)  
杭州海徳世拉索系統有限公司  
(CHINA)



江蘇大同海徳世車門系統有限公司  
(CHINA)  
江蘇大同多沃汽車配件有限公司  
(CHINA)



HI-LEX INDIA PRIVATE LTD.  
(INDIA)



HI-LEX SERBIA D.O.O. (SERBIA)



韓国TSK株式会社 (KOREA)



大同ハイレックス株式会社  
(KOREA)  
大同ドア株式会社 (KOREA)



株式会社大同システム (KOREA)



重慶海徳世拉索系統集團有限公司  
(CHINA)



PT. HI-LEX INDONESIA  
(INDONESIA)



PT. HI-LEX PARTS INDONESIA  
(INDONESIA)  
PT. HI-LEX CIREBON  
(INDONESIA)



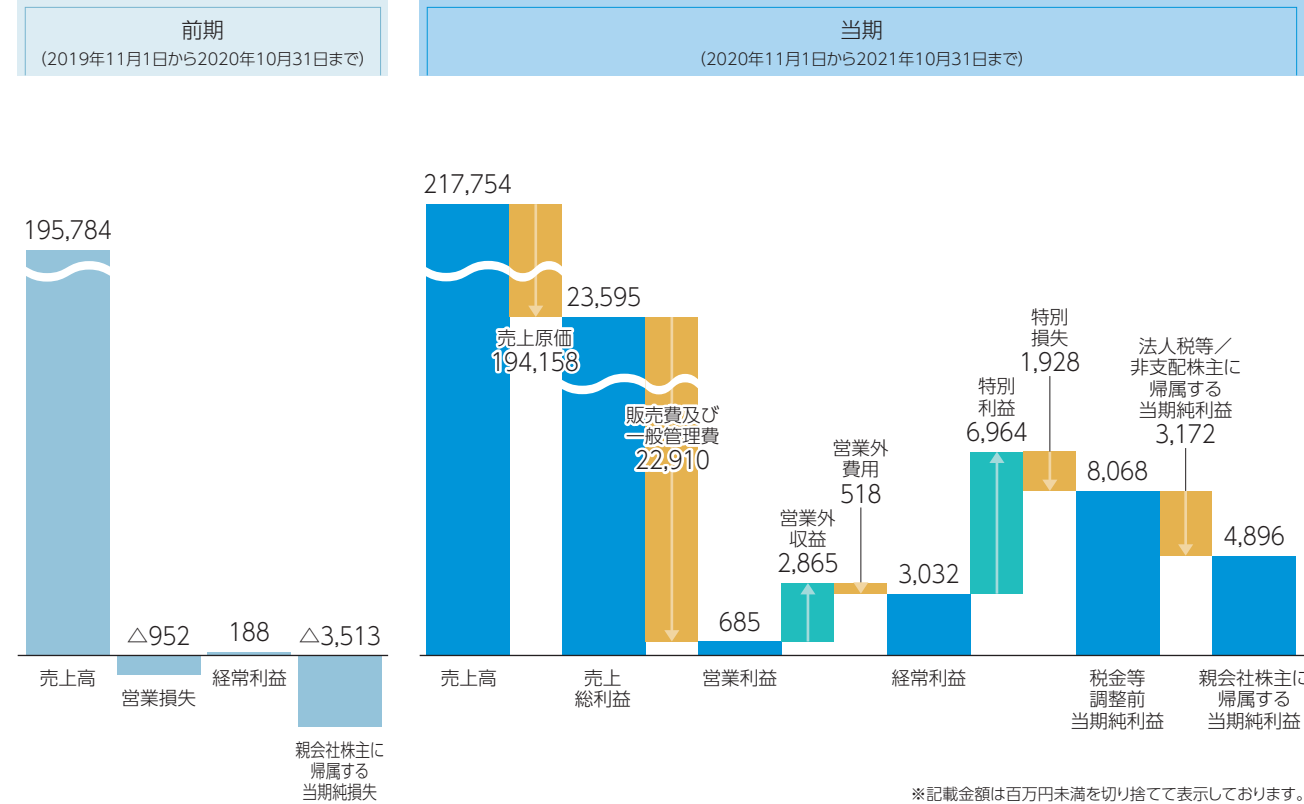
HI-LEX VIETNAM CO., LTD.  
(VIETNAM)



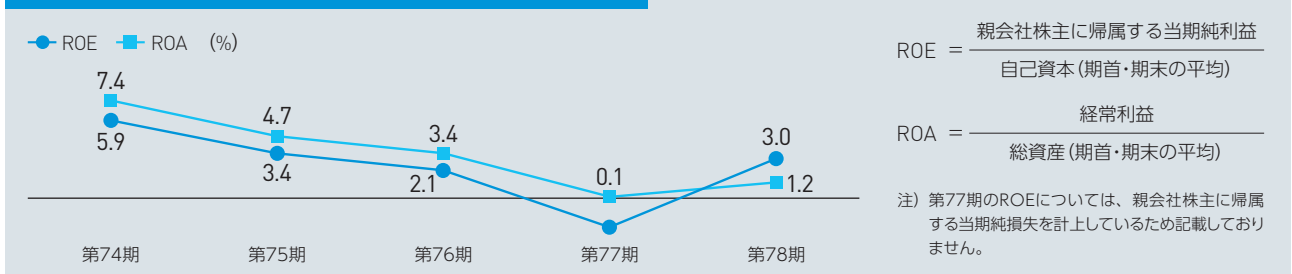
THAI STEEL CABLE PUBLIC  
COMPANY LIMITED  
(THAILAND)



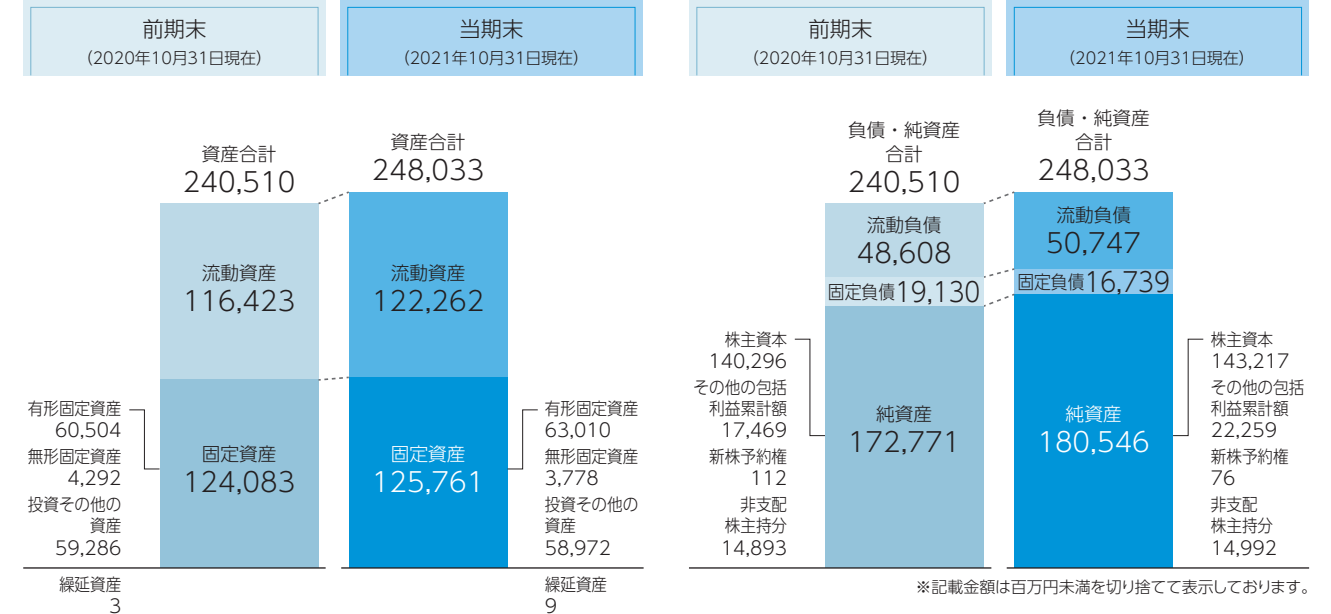
連結損益計算書の概要 (単位：百万円)



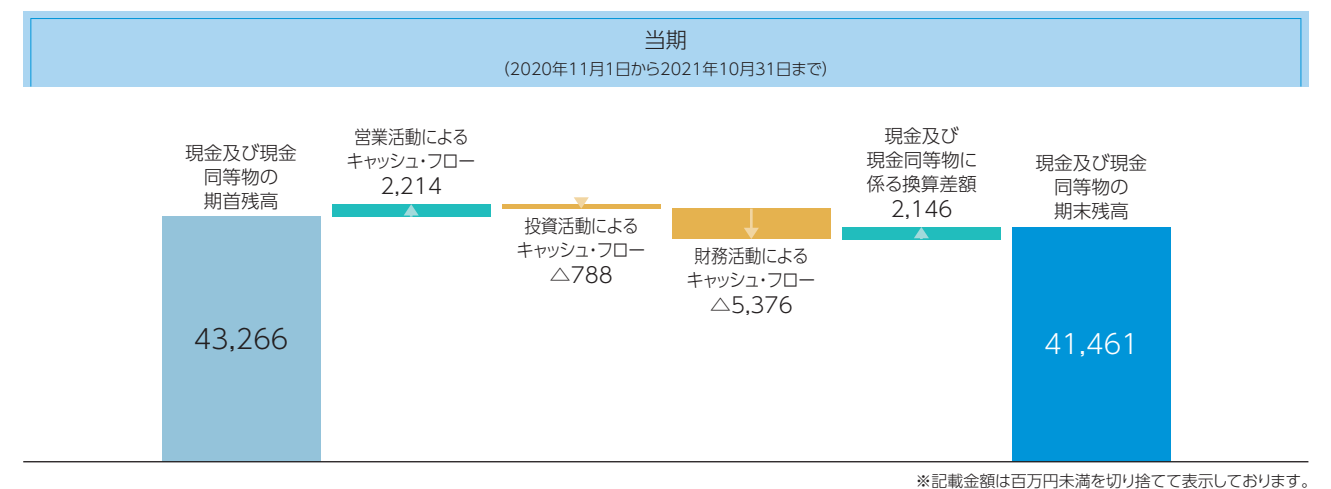
ROE(自己資本利益率)・ROA(総資産利益率)の推移



連結貸借対照表の概要 (単位：百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (単位：百万円)



■ 事業所

(2022年1月現在)

国内

医療機器事業部、三田工場、三田西工場、  
柏原工場、三ヶ日工場（浜松営業所）、  
宇都宮技術センター（宇都宮営業所）、  
東京営業所、名古屋営業所、広島営業所

海外

アメリカ、メキシコ、ブラジル、  
ドイツ、イタリア、スペイン、  
ハンガリー、ロシア、中国、韓国、  
インド、インドネシア、ベトナム、タイ、  
チェコ、セルビア

■ 連結子会社等

(2022年1月現在)

出石ケーブル株式会社  
株式会社ハイレックス島根  
株式会社ハイレックス埼玉  
株式会社ハイレックス関東  
株式会社サンメディカル技術研究所  
但馬ティエスケイ株式会社  
株式会社ハイレックス宮城  
株式会社ハイレックスメディカル  
TSK of AMERICA INC.  
HI-LEX AMERICA INC.  
HI-LEX CONTROLS INC.  
DAEDONG HI-LEX OF AMERICA INC.  
HI-LEX MEXICANA,S.A.DE C.V.  
HI-LEX HUNGARY CABLE SYSTEM MANUFACTURING LLC  
HI-LEX RUS LLC  
HI-LEX EUROPE GMBH  
HI-LEX ITALY S.P.A.  
HI-LEX AUTO PARTS SPAIN,S.L.  
HI-LEX CZECH, S.R.O.  
HI-LEX SERBIA D.O.O.

韓国TSK株式会社  
大同ハイレックス株式会社  
大同ドア株式会社  
重慶海德世拉索系統集团有限公司  
重慶海德世控制拉索系統有限公司  
長春海德世汽車拉索有限公司  
広東海德世拉索系統有限公司  
広州利時徳控制拉索有限公司  
杭州海德世拉索系統有限公司  
煙台利時徳拉索系統有限公司  
江蘇大同海德世車門系統有限公司  
江蘇大同多沃汽車配件有限公司  
海德世汽車部件(瀋陽)有限公司  
HI-LEX INDIA PRIVATE LTD.  
PT. HI-LEX INDONESIA  
PT. HI-LEX PARTS INDONESIA  
PT. HI-LEX CIREBON  
HI-LEX VIETNAM CO.,LTD.  
HI-LEX DO BRASIL LTDA.  
HI-LEX DOOR INDIA PRIVATE LIMITED.

■ 会社の概要

(2021年10月31日現在)

商号 株式会社ハイレックスコーポレーション  
設立 1946年11月  
資本金 56億5,705万6,150円  
代表 代表取締役社長 寺浦 太郎  
従業員数 966名  
(従業員数には、出向者は含んでおりません。)

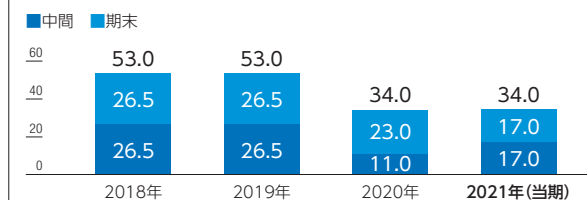
■ 役員

(2021年10月31日現在)

取締役会長 寺 浦 実  
代表取締役社長 寺 浦 太 郎  
代表取締役副社長 中 野 充 宏  
取締役 正 木 靖 子  
取締役 加 藤 徹  
取締役 赤 西 芳 文  
取締役 吉 川 博 巳  
常勤監査役 松 本 耕 一  
監査役 吉 竹 英 之  
監査役 小 林 佐 敏  
監査役 太 田 克 実

取締役 正木靖子、取締役 加藤徹、取締役 赤西芳文及び取締役 吉川博巳の4氏は、社外取締役であります。  
監査役 吉竹英之、監査役 小林佐敏及び監査役 太田克実の3氏は、社外監査役であります。  
当社は取締役 正木靖子、取締役 加藤徹、取締役 赤西芳文、取締役 吉川博巳、監査役 吉竹英之、監査役 小林佐敏及び監査役 太田克実の7氏を東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所に届け出ております。

配当金の推移 (単位: 円)



■ 株式の状況

(2021年10月31日現在)

発行可能株式総数 80,000,000株  
発行済株式の総数 38,216,759株  
(自己株式699,741株を含む)

株主数 3,391名

大株主 (上位10名)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
寺浦興産株式会社	9,536	25.41
公益財団法人寺浦奨学会	1,554	4.14
ビービーエイチ フォー フィデリティ ロー プライズ ストック ファンド (プリンシパル オール セクター サポートフォリオ)	1,393	3.71
日本生命保険相互会社	1,259	3.35
西川ゴム工業株式会社	1,034	2.75
本田技研工業株式会社	850	2.26
株式会社アルファ	806	2.15
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	806	2.14
株式会社三菱UFJ銀行	739	1.97
ビーエヌワイエム アズ エージーティ クライアランス 10 パーセント	735	1.96

(注) 持株比率は自己株式 (699,741株) を控除して計算しております。

分布状況

